

第1回 小牧市高齢者健康生きがい推進支援事業検討委員会 議事録

日時	令和2年11月25日(水) 10時30分～11時10分	
場所	小牧市役所本庁舎 3階 301会議室	
出席者	<p><b>【委員】(名簿順)</b></p> <p>関 哲雄 特定非営利活動法人こまき市民活動ネットワーク事務局長          廣畑 英治 公益社団法人小牧市シルバー人材センター事務局長          飯塚 美由紀 春日井公共職業安定所統括職業指導官          田中 秀治 社会福祉法人小牧市社会福祉協議会地域福祉課長          山田 好広 社会福祉法人小牧市社会福祉協議会ボランティアセンター長          野中 宏朋 一般社団法人こまき市民文化財団チーフマネージャー</p> <p><b>【事務局】</b></p> <p>入江 慎介 健康生きがい支え合い推進部長          江口 幸全 健康生きがい支え合い推進部次長          永井 政栄 健康生きがい支え合い推進部 健康生きがい推進課長          伊藤 京子 健康生きがい支え合い推進部 支え合い協働推進課長          大塚 正則 健康生きがい支え合い推進部 支え合い協働推進課市民協働係長          岩下 貴洋 健康生きがい支え合い推進部 健康生きがい推進課健康政策係長          稲垣 翔太 福祉部地域包括ケア推進課</p>	
傍聴者	0名	
配付資料	<p>資料1 小牧市高齢者健康生きがい推進支援事業検討委員会設置要綱          資料2 委員名簿・座席表          資料3 愛知県モデル事業 仕様書          資料4 小牧市におけるモデル事業の検討体制及び総合相談窓口の設置場所案          資料5 モデル事業の実施に係るスケジュール案          参考資料1 小牧市審議会等の会議の公開に関する指針          参考資料2 こまき市民交流テラス(ワクティブこまき)チラシ</p>	
<p><b>1. 開会</b></p> <p>(1) 委嘱状の交付</p> <p>(2) 委員の紹介</p> <p>(3) 委員長、副委員長の選任          ・委員長：田中委員、副委員長：関委員に決定。</p> <p>(4) あいさつ          ・田中委員長あいさつ</p> <p><b>2. 議題</b></p> <p>(1) 会議の公開について          ・会議公開で決定。</p> <p>(2) 愛知県モデル事業 高齢者がいきいきと輝くまちづくり(高齢者の就労・生きがいづくりの一体的支援)について          ・事務局より、資料3：愛知県モデル事業 仕様書を用いて、説明。</p>		

- ・ 質疑、主な意見なし。

### (3) 総合相談窓口の設置場所及び今後の進め方等について

- ・ 事務局より、資料4：小牧市におけるモデル事業の検討体制及び総合相談窓口の設置場所案及び資料5：モデル事業の実施に係るスケジュール案を用いて説明。
- ・ 質疑、主な意見は以下の通り。

#### 廣畑委員)

- ・ ロードマップをみると、ワンストップ窓口について、1月から開始予定となっているが、どのような形で進めていくのか。

#### 岩下係長)

- ・ 本委員会で、ワンストップ窓口の設置場所を決定した後、実務者会議において検討し、各機関の状況を踏まえ、設置可能な機関から順次設置していきたい。
- ・ それに向けて、それぞれの機関と個別に調整し、必要な契約を年内に終え、1月から開設できるよう目指したい。

#### 廣畑委員)

- ・ 担当部署としては、健康生きがい推進課が調整することになるのか。

#### 岩下係長)

- ・ その通りである。

#### 野中委員)

- ・ 目指す成果として、相談件数とマッチング件数を成果指標として掲げることとしているが、具体的な目標値は設定しているか。

#### 永井課長)

- ・ 現在、具体的な目標値の想定はしていないが、これから関係機関の皆さんと話をしていく中で、まずは、どれだけ多くの方に来訪していただくかが、スタートになるかと思う。
- ・ その後、ニーズを把握し、必要な事業等につなげていきたい。
- ・ 今後、来訪者等の状況を踏まえ、具体的な目標などの話をさせていただきたい。

#### 田中委員長)

- ・ ワクティブこまきの来場者数を聞くと、来場者が増えていると思う。

#### 関委員)

- ・ 個人のボランティア活動について、登録している団体へのマッチングは行っているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、ボランティア団体も活動自体を自粛しているところもあり、なかなか目標値を定めるのは難しい。
- ・ しかし、いかに気軽に相談に来ていただくか、PRすることについては力を入れてやっていきたいと思う。

#### 飯塚委員)

- ・ 他の自治体で実施されているところの進捗状況はどうか。

#### 岩下係長)

- ・ 本モデル事業については、本市を含めて3市（小牧市、豊橋市、豊田市）が応募し、いずれの自治体も愛知県と10月1日付けで契約し、事業を展開している。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、当初計画の変更を余儀なくされることも予想される場所であるが、現状として、各市の取組み状況に関する詳細の情報は得られていない。

#### 山田委員)

- ・市民交流テラスとボランティアセンターで協力して活動していくということで、実際いろいろな面で、良い関係で協力している。
- ・先日、ボランティアセンターでの相談で少し対応に困ったケースがあったが、市民交流テラスに連絡し、ご協力いただく中で、対応している。

#### 田中委員長)

- ・この横のつながりが、そのまま拠点としてもっていけるとよい。
- ・事務局より、ワンストップ窓口の設置場所として、「市民交流テラスワクティブこまき」という案があったが、事務局案のとおり進めてよいか。  
《異議なし》
- ・ワンストップ窓口の設置場所については、「市民交流テラスワクティブこまき」として今後の事業展開を検討することとする。

#### (4) その他

#### 岩下係長)

- ・議事録について、事務局で作成し、委員の皆さんに確認していただいた後、市ホームページで公開していきたい。
- ・2回目の委員会については、1月から2月頃に開催したい。  
内容としては、高齢者のニーズ、次年度の事業展開、窓口設置の状況等について情報共有していきたいと考えている。
- ・今後、開催する実務者会において、具体的な窓口設置に向け、検討し、関係機関とは、必要な契約をしていきたいと考えている。実務者会に向けて、各機関内部で調整、検討をお願いしたい。

### 3. 閉会